

# 札幌市青少年育成委員会 活動サポートガイド

## 1 はじめに ～私たちの活動の目的～

札幌市青少年育成委員会は、地域の子どもたちの健全な育成を目指して日々活動しています。このサポートガイドは、委員の皆さまが安心して活動に従事し、子どもたちが安全に参加できる環境を整える「道しるべ」として活用してください。

活動にあたっては、以下の3点を活動の柱として意識しましょう。

### (1) 安全確保の徹底

参加する子どもたちはもちろん、運営を担う委員の皆さま自身の安全を確保し、誰もが安心して集まれる場を作ります。

### (2) 事件・事故の未然防止

事前のリスク確認と体制整備を徹底することで、悲しい事故やトラブルを未然に防ぎます。

### (3) 委員会と委員の保護

主催者として民法上の安全配慮義務を適切に果たすことは、万が一の損害賠償責任などのリスクから委員会や委員の皆さまを守ります。

このサポートガイドは委員の皆さまの活動を制限するものではありません。活動上のトラブルから委員の皆さま自身を守り、安心して地域活動を継続するための大切な手引きです。イベントやパトロール・見守りなどの活動を行う際のチェックリストとして活用してください。

## 2 事前準備の心がけ ～安心な環境づくりのために～

活動を安全に進めるためには、当日を想定した丁寧な準備が欠かせません。以下の点に留意して、準備を進めましょう。

### □ 会場の選定と安全確保

- 会場の内外を事前に点検し、割れたガラスや釘、火気などの危険物、酒・タバコ・有害図書などの有害物を排除してください。
- 死角やトイレの個室、駐車場、水場など、事件や事故のリスクがある場所を把握しましょう。もし周辺環境を含め安全な実施に懸念がある場合は、無理に実施せず、会場の再選定を検討しましょう。
- 避難経路、AEDの設置場所、救急セット（医薬品や衛生用品の使用期限が切れていないか）を確認しましょう。

### □ 役割分担とスタッフの選定

- 緊急時に指揮を執る責任者をあらかじめ選定し、警備・誘導・救護などの役割を明確にしましょう。
- 他団体と連携する場合は、事前にこのサポートガイドの考え方を共有し、役割分担を決めましょう。
- イベント規模や過去の事例を考慮して、十分な数のスタッフを確保しましょう。特に、身体が接触するスポーツイベント等を開催する場合はスタッフの増員を検討しましょう。
- ボランティア等のスタッフについては事前に身元の確認を行い、当日の表情や言動から心身の不調がみられる場合は参加を見合わせてもらうなど、適切な人員配置を行いましょう。

### □ 連絡体制の整備と保険の確認

- 警察、消防、区の担当者、医療機関を含めた連絡体制表を作成し、スタッフ間で共有しましょう。
- 連絡体制表を作成したときは、個人情報には慎重に取り扱い、活動終了後は適切に処分してください。
- 「札幌市地域活動保険」の対象範囲を確認し、必要に応じてレクリエーション保険等への加入を検討しましょう。

※札幌市地域活動保険については、札幌市青少年育成委員会委員手帳に詳細を掲載しております。

### 3 当日の運営と安全配慮 ～子どもたちと委員の安全を最優先に～

当日は状況の変化に迅速に対応し、参加者の安全を最優先に考えた行動をお願いします。

#### □ 開催の判断

- 気象情報に基づき、台風や大雪など事故につながる災害が予測される場合や、熱中症警戒アラートやヒグマの出没情報が出ている場合は、安全を第一に考え、延期または中止を検討しましょう。
- イベントを延期・中止する際は参加者が会場に集まることのないよう、速やかに連絡しましょう。

#### □ 身だしなみと事前の打ち合わせ

- 参加者がスタッフを識別できるよう、ジャンパー、ビブス、腕章などを着用してください。
- 開場前にはスタッフ全員で、役割分担や緊急時の連絡体制、当日の流れについて最終確認を行いましょう。

#### □ 広報とプライバシーの保護

- 写真・動画撮影は広報担当者のみが行い、私用のカメラやスマートフォンでの撮影は厳に慎みましょう。
- 広報担当者であっても、参加者の年齢に関わらず、水着姿や入浴など露出度の高い写真は撮影してはいけません。
- 撮影やSNS等への掲載にあたっては、参加者に対して事前に説明し、同意を得てください。同意は口頭で構いません。参加者が未成年の場合は、保護者から同意を得るようにしてください。掲載する際は氏名や学校名などの個人情報が映り込まないよう細心の注意を払いましょう。

#### □ 防犯・安全対策

- スタッフの目の届かないところで、子どもたちだけにならないよう、スタッフの配置を工夫しましょう。
- 不審者を発見した際は、スタッフ間で情報共有してください。不審者に対しては安易に声掛けせず、様子を観察して冷静な対応を心がけてください。
- 不審な行為を確認したときは、速やかに警察へ110番通報し、参加者の安全確保に努めてください。

- 子ども同士のトラブルが起きた際は、双方を安全に引き離して落ち着かせてください。保護者が同伴していれば、保護者へ引き渡しましょう。
- 飲食を提供する場合は、衛生管理とアレルギー確認を徹底してください。
- 活動中は適宜休憩時間を設け、こまめな水分補給を呼びかけてください。

#### 4 パトロール・見守り活動のポイント

委員の皆さま自身が従事するパトロールや見守り活動においても、協力体制を構築して安全を確保します。

- 委員の体調管理と無理のない参加
  - 活動前に各自で健康状態を確認しましょう。発熱、咳、倦怠感などの不調がある場合は無理をせず、欠席するようお互いに声をかけ合ってください。
- 身の安全の確保
  - パトロール等は複数人で行動し、防犯ブザーや反射材を着用して自身の安全を守ることを徹底してください。
- 交通ルールの遵守と飲酒運転の厳禁
  - 車両（自転車を含みます）を利用する際は交通ルールを厳守しましょう。
  - 委員会の事業に関連する懇親会等で飲酒をした場合、車両の運転は、いかなる理由があっても厳に慎むよう周知してください。

#### 5 緊急事態・災害が発生したときの行動

事故や災害が発生した際は、命を守ることを最優先に迅速に行動してください。

- 救命・救護
  - 必要に応じて直ちに119番通報を行い、できる限りの応急救護を行ってください。

- 二次災害を防ぐため、現場の安全を確保した上で救急隊に引き継ぎましょう。
- 負傷者が多数発生し、スタッフのみでの対応が困難な場合は、会場内の保護者や協力可能な参加者に支援を呼びかけ、救護に最善を尽くしましょう。

#### □ 災害への対応

- 緊急地震速報、竜巻警報やJアラートが発生した場合、または火災等により参加者の安全を脅かす事態が生じた場合は、直ちに活動を中断し、参加者を安全な場所へ誘導してください。
- 発生した災害の種類に応じて、状況に適した身の安全を守る行動をとります。
  - 地震 落下物から頭部を守り、身の安全を確保する。
  - 火災 煙を吸わないよう姿勢を低くし、速やかに屋外へ避難する。
  - 竜巻・Jアラート 屋外では頑丈な建物や地下へ避難し、屋内では窓のない部屋へ移動して頭部を守る。

#### □ 避難誘導

- 会場アナウンスや拡声器などを使用して、冷静に避難を呼びかけてください。
- 外国人や障がいのある方が参加しているかもしれません。わかりやすい言葉やジェスチャーを使用するよう心がけましょう。

#### □ イベント継続の判断

- 責任者は状況に応じて中止も含め、イベントの継続について速やかに判断してください。
- イベントを中止した場合、参加者の保護者にお迎えをお願いする、同じ方面の参加者を一緒に帰宅させるなど、帰宅時の安全管理に留意しましょう。

#### □ 情報の記録と報告

- 保険請求や事実確認のため、事故の状況を詳細に記録（写真・動画を含む）しておくとい良いでしょう。
- 第三者による傷病で医療機関を受診する際は、必ずその旨を医療機関に伝えてください。
- 事態が落ち着いた後、速やかに「区役所地域振興課」の担当者へ報告をお願いします。

※区役所地域振興課の連絡先は、札幌市青少年育成委員会委員手帳に掲載しております。

## 6 活動のふりかえり

活動後のふりかえりや事務手続きを丁寧に行うことで、次回の安全な運営につながります。

### 拾得物と課題の共有

- 忘れ物があった場合は、拾得日時や場所を記録して適切に保管してください。金銭等で持ち主が現れない場合は後日警察へ届け出てください。
- 運営上の課題を記録し、次回の活動で改善できるよう情報を共有しましょう。

### 適切な事務処理

- 活動で収集した個人情報や適正に処分してください。
- 謝礼の管理（捺印・サインの受領）や経費の領収書保管など、適正な事務管理をお願いします。

## 7 おわりに ～臨機応変な対応を～

判断に迷うときは、区役所や子ども未来局の担当までご相談ください。悩みを共有して一緒に考えます。

実際の活動現場では、予期せぬ事態が起こることもあります。その際はこのサポートガイドを基本としつつも、「参加者と自分自身の安全確保」を第一に考え、臨機応変に対応していただくようお願いします。